

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

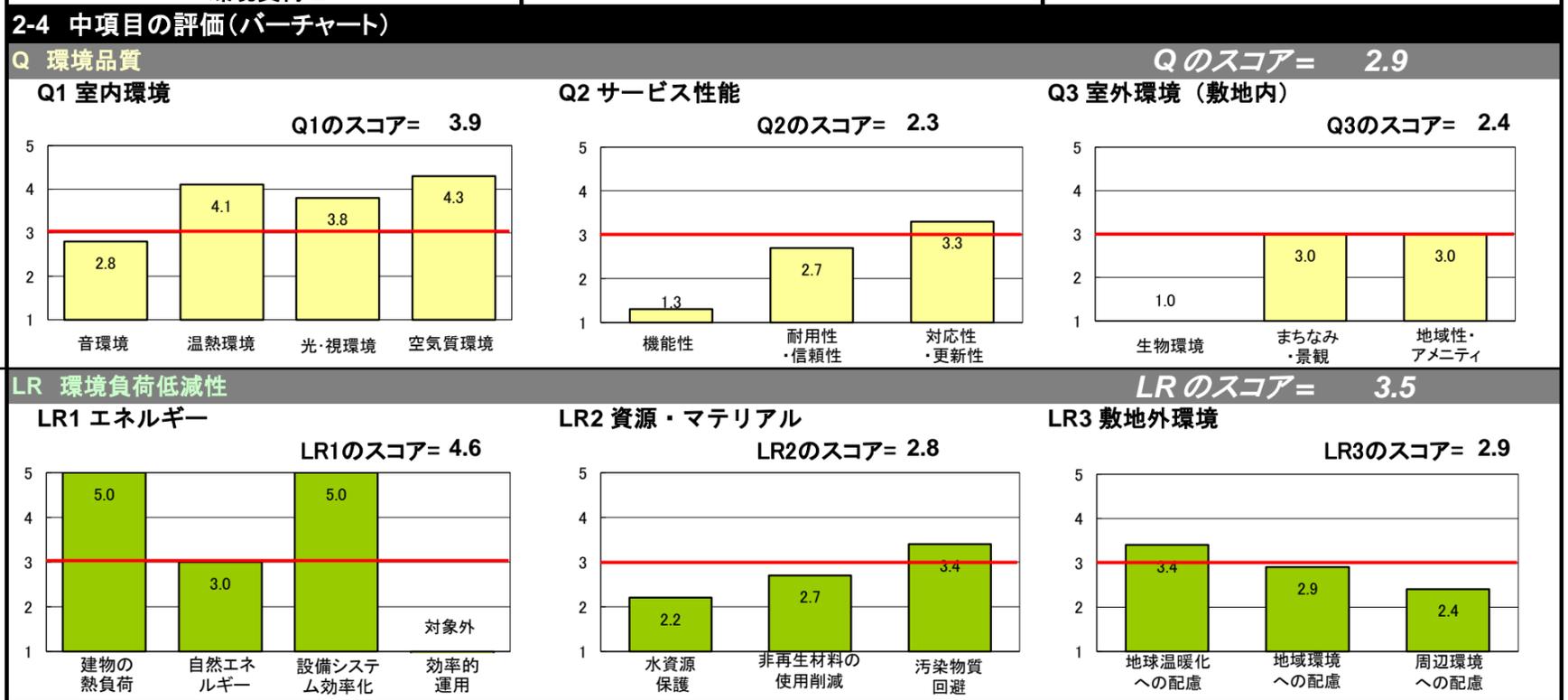
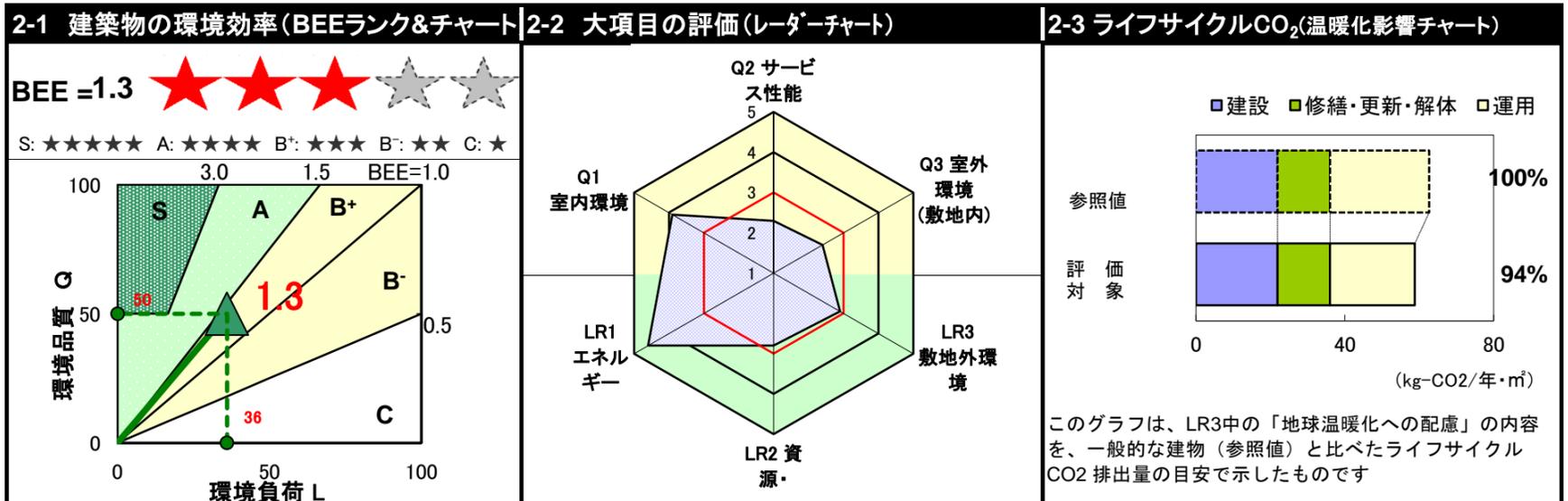
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コンツェルトパーク段原参番	階数	地上12F
建設地	広島市南区段原山崎2丁目段原東	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	77人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年1月24日
敷地面積	598 m ²	作成者	松本 成久
建築面積	283 m ²	確認日	
延床面積	2,201 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 1.8	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能表示基準温熱等級4相当としている // [ERR値]が25%以上 // 内装材と設備が錯綜しない納まり / ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物(参照値)に対して94%	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 設備配管に主としてB種を採用 / 設備配管にさや管工法を採用するなど、設備の更新性に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される